

## 令和6年度 シラバス

教科	家庭	科目	服飾手芸	必修・ <b>選択</b>	単位数	2
教科書・副教材等						
学習の到達目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、副食に活用する能力と態度を育てる。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	基礎縫い、ミシン縫い、刺繍、編み物の技法などに関する技術を身に付けている。	各種手芸の技法を活用して、想像力を働かせて手芸作品を制作し、実際に活かすことができるような能力と実践的な態度を身に付けている。	服飾手芸に関心をもち、製作計画を立て、目的に応じた作品作りに意欲的に取り組んでいる。			
評価の方法	上記の3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、製作品の提出状況、発表の仕方や内容等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1	手芸の種類と特徴	・刺繍、編み物、織物、その他の手芸などについて、実際の作品を見たり触れたりして、手芸の技法や特徴を理解する。			
	2	手芸の変遷	・刺繍、編み物、織物、その他の手芸などの変遷について理解し、それぞれの手法がどのような変遷を経て、現在の生活に活用されているかなどについて、地域の伝統文化などと関連付けて考える。			
後期	3	服飾材料としての各種手芸の技法	・刺繍について、基本的な技法を理解する。			
	4	手芸品の製作	・刺繍の基本的な技法、仕上げを習得する。			
後期	3	服飾材料としての各種手芸の技法	・編み物について、基本的な技法を理解する。			
	4	手芸品の製作	・かぎ針編み、棒網の基本的な技法、仕上げを習得する。			